



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とてひの かふち

《学校だより》 第14号

令和3年11月16日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 北村和裕

運動場のけやきも日を追うごとに色づいていき、秋の深まりを感じるようになりました。新型コロナウイルス感染症の感染者も8・9月と比べると大幅に減少しています。引き続き、感染予防対策はとりながらも、校外学習を行ったり、外部の方を講師としてお招きしたりと、少しずつ教育活動に広がりを持たせています。

今回は、最近本校に来てくださった講師の方や・ボランティアの方の特集です。



「地域の安全を守る」警察官の方々

3年生は社会科の学習で、警察官の仕事について学びました。警察官といえば森山巡査部長です。森山さんは観光会館の近くにある湯河原駐在所に勤務し、登校時には五所神社や本校の校門の所などで子ども達の安全を見守ってくださっています。



毎年、3年生は森山さんから授業でいろいろな話を聞いています。今回も、仕事の内容、やりがいなどについて話していただきました。また、小田原警察署の方にも来ていただき、「アクティブ交番」という新しいパトカーも見せていただきました。



新しいパトカー

警察官であり、湯河原町民でもある森山さんは、この湯河原が安全で暮らしやすい町になるようにと常に願いながら見守ってくださっているのです。

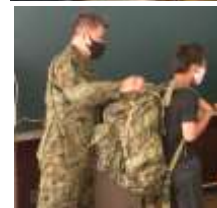
「平和を仕事にする」自衛隊の方々



4年生は総合的な学習の時間に、今までいろいろな職業の方から話を聞いてきました。11月5日は自衛隊の方をお招きしました。3名の方が来校されて

自衛隊の仕組みや仕事の内容などについて伝えていただきました。また、南極の氷に触れさせてもらったり、15kgあるリュックサックを背負わせてもらったりしました。

「私たちは、みなさんの財産と幸せを守るために働いています」という言葉が大変印象的でした。熱海の土石流災害の際に自衛隊の方々が泥まみれになって活動されている姿が思い浮かびました。



「本の楽しさを伝える」読み聞かせボランティアの方々

読み聞かせボランティア「おはなし わん：わん わん」のみなさんに、8日(月)は4年生を対象に朝の読み聞かせを、9日(火)は全校の子どもたちを対象に、昼のお話を昼休みに行っていただきました。



朝の読み聞かせでは、コロナ対策として子ども同士の距離を保つために、自分の席に座って大型提示装置に映る本を見ながら聞くという方法を試みました。またお話会では、低学年も高学年も本を見ながら集中して話を聞いていました。

「おはなし わん：わん わん」の方々には、事前に読む本を図書室に借りに来たり、読み聞かせの後、地域活動室に集まって振り返りを行ったりするなど、私たちの見えないところでも努力や工夫をされています。長年にわたり本校の子どもたちのために活動してくださることに対して感謝の思いでいっぱいです。



頑張っています 教育実習生

11月1日(月)から4週間、2人の大学生が教育実習を行っています。高橋さんと三浦さんで、2人とも小学校の頃は本校で学んでいました。ということは、今本校に在籍している子どもたちも、やがては大人になり、自分の夢を持ち、それに向かって突き進んで行くであろうと2人の姿を見て想像していました。



高橋さんは4年1組で、また三浦さんは2年2組で、担任の先生や子どもたちと毎日関わり、やる気に満ちあふれながら実習を進めています。「未来の先生」をめざし、一生懸命に活動する2人を、子どもたちや先生方も心から応援しています。



(その他、子どもたちの様子は学校のブログに掲載中)

<https://www.yusho.site/>